

平成20年度 保育所保育・保健推進セミナー実施要綱 (大阪開催)

1. 目 的

近年、入所児童の低年齢化、長時間保育の普及に伴い、入所児童の健康管理の充実が求められています。家庭に代わって生活の場となる保育所では、心身の健康問題に適切に対処するための保健活動や生活習慣の涵養に努めているところです。本研修会は、より積極的な保健活動を展開するため、嘱託医、保健師、看護師、栄養士、保育士、調理員が協力して、小児保健の向上を図るために必要な理論と方法に関し、相互研修を行うことを目的とします。

2. 主 催

社会福祉法人 日本保育協会

3. 共 催

日本保育園保健協議会

4. 後 援

厚生労働省、大阪府、大阪市、日本医師会、大阪府医師会、日本小児科学会、日本小児保健協会、日本小児科医会、大阪小児科医会、全国保育園保健師看護師連絡会、大阪保育所保健連絡協議会 (申請中)

5. 対象及び人員

保育所の嘱託医と所長、保健師、看護師、保育士、栄養士、調理員とし、先着順に300名以内とします。

6. 期日及び場所

期 日 平成21年2月28日(土)・3月1日(日)の2日

場 所 大阪国際交流センター

大阪市天王寺区上本町8丁目2番6号

電話 06-6772-5931番

7. 研修内容

主な研修内容は、次のとおりとします。

主題・保育所の健康支援と保健活動

(1) 講演	講師
<p>I. 発達障害の早期発見と親への対応</p> <p>保育所では「気になる子」の存在がクローズアップされている。問題はそれを親に伝え、専門機関へとつなげていくステップをどう踏み出すかだ。早期発見の場でもある乳幼児健康診査の実際から、発達の特性に気づく目を養うこと、それを親にどのように伝え専門機関への橋渡しをするかまでの配慮事項などを学ぶ。</p>	<p>戸田市立医療保健センター相談役、 office21kitatoda代表 平 岩 幹 男</p>
<p>II. 「保育指針」の健康安全（第5章）について</p> <p>新「保育所保育指針」の第5章は、園児の健康支援、保育所の衛生管理・安全管理について書かれている。保健活動に活かすために保健職、保育士等はどう取り組んだらいいのだろう。できるだけ具体的な保育所保健の姿を示していただく。また、特に保健職に何を望むか提言していただく。</p>	<p>厚労省保育指導専門官 天 野 珠 路</p>
(2) パネルディスカッション	役割者
<p>3歳未満児の感染症対応と登園を考える</p> <p>今までの保育保健は、学校保健法に準じるという扱いで語られることが多かった。しかしこれからは、学校保健法に準じることから一步先に踏み出した乳児保健法的な発想に進まないとならないだろう。今回は、保育園児の感染症対策に絞り、日本保育園保健協議会や大阪府医師会で検討している感染症全般の対処法、登園基準等をベースに解決策を語り合う</p>	<p>大阪小児科医会名誉会長／枚方市・医療法人七美会理事長 大 林 一 彦 大阪府医師会学校医部会副部長 就学前児保健委員会委員 中 谷 正 晴 大阪府保育所保健連絡協議会 交渉中</p>

(3) 分科会	役割者
<p>第1分科会 「保育所保育指針」の改定と看護師の役割</p> <p>新「保育所保育指針」第5章の「看護師等」の業務について語り合う。保健職の配置は2割に過ぎず、しかも一人職種の現状の中で、(解説書では、)健康管理及び保健計画の策定、医学的対応、健康教育、発育・発達状態の把握・記録、さらに乳児保育での保育士の兼務など多岐にわたる業務が記述されている。これらの業務を遂行するための留意事項と他の職種との連携を学ぶ。</p>	<p>助言者 厚労省保育指導専門官 天野 珠 路 大阪保育所保健連絡協議会会長 小野寺 芳 子</p>
<p>第2分科会 食物アレルギーと食育—0、1歳児中心に—</p> <p>食べるものが限定されている0、1歳児期のアレルギー対策はとても重要だ。本分科会では、離乳食の時期に焦点を当てて食物アレルギーと食育を取り上げる。また、そもそもアレルギーとは何か、基本に立ち返って、勉強しよう。</p>	<p>助言者 国立成育医療センター 第一専門診療部アレルギー科医員 成 田 雅 美</p>
<p>第3分科会 けがの応急手当—湿潤療法での治療—</p> <p>保護者に十分な理解がない状態で新しい方法で処置を施すことには躊躇せざるをえないが、それでも最近、傷の手当てに消毒液やガーゼをすぐに使わない動きが出てきた。これは傷痕が残りにくい湿潤療法(密閉療法、閉鎖療法)の考えが浸透してきたからだろう。湿潤療法とは何か、その理論と実際を学ぶ。</p>	<p>助言者 聖マリアンナ医科大学 小児外科教授 北 川 博 昭</p>
<p>第4分科会 睡眠と生活リズムの立て直し—健やかな発育発達のために—</p> <p>不規則になりがちな親の生活時間に巻き込まれ、乳幼児の生活リズムも乱れている。その結果、朝寝坊、体調不良、イライラなど、様々な症状を抱える子が増えている。生活リズムはなぜ大切なのか、また、保育所の午睡のあり方にもふれる。</p>	<p>助言者 和洋女子大学人文学部 教授 鈴 木 みゆき</p>

8. 費 用

- (1) 参加費は、6,000円とします。
- (2) 通修参加とし、交通費は参加者負担とします。宿泊を希望する方には、「11. 宿泊等のご案内」によりトップツアー株式会社新宿支店が宿舎を斡旋します。

9. 申 込

別紙の所定様式により、平成21年2月6日（金）までに、FAXもしくは郵送（必着）にて次記に申し込むものとします。

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1丁目20番2号 ホウライビル4階

トップツアー株式会社新宿支店

保育所保育・保健推進セミナー事務局（担当者 黒田智之／営業4課）

電話 03-3340-0600番（代） FAX 03-3340-0628番

10. 振 込 先

経費の振込は、参加申込書到着次第、トップツアーより参加票とともに所定の振込用紙をお送りいたしますので、その用紙で平成21年2月13日（金）までに振込んでください。但し、口座番号及び名称は下記のとおりです。

口座番号 00140-9-601395番

名 称 トップツアー株式会社 新宿支店

平成20年度 保育所保育・保健推進セミナー日程表

時間 日割	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		30	30	30	10 30	30	30	40	30
第1日 2月28日 (土)				受 付	開 会 式	講 演 I		パネルディスカッション	
第2日 3月1日 (日)			講 演 II	休 憩		分科会(4分科会)			

11. 宿泊等のご案内

宿泊をご希望の方は別紙申込書にご記入のうえ、トップツアー新宿支店担当者：黒田／（不在時は営業4課）までお申し込みください。ご利用いただく宿舎は次のホテルです。

日 付	ホテル名	申込記号	宿泊料金（1人）	備 考
2月28日	シェラトン都 ホテル大阪	ア	シングル 17,000円	会場より徒歩8分
		イ	ツイン 15,000円	
2月28日	ホテル アウイーナ大阪	ウ	シングル 11,500円	会場より徒歩3分
		エ	ツイン 10,000円	

- 宿泊料金には、朝食・税金・サービス料が含まれています。
前泊（2月27日）及び後泊（3月1日）についても承ります。
また、上記以外のホテルご希望の方は希望ホテル名をお書き下さい。
- お申し込み受付は、平成21年2月6日（金）までに別紙の所定様式によりお申し込みをされ、平成21年2月13日（金）までに所定の経費が振込まれた方とさせていただきます。

